

昇降機の安全・安心・ 快適をひたすらに追求

富士エレベーター工業株式会社

マンションからオフィスビル、工場、公共施設などの建物に、乗用、人荷用、荷物用など各種エレベーターや小荷物専用昇降機といった製品を納めてきたエレベーターの専業。戦後まもない1947（昭和22）年に千代田区神田鎌倉町で会社設立。日本の昇降機市場の発展とともに、大手メーカーをはじめ競合がひしめくなか、幾多の困難を乗り越え、着実にブランドを維持・発展させてきた。

本質的にエレベーターは、行きたい階に人やモノを運ぶ、その機能を確実に、そして何十年という単位で求められる製品だ。商品だけでの独自性は出しづらい。それでも

篠田一喜社長が「大手メーカーの単なるフォロワーではない」と強調するように、エレベーター専業としての強みを随所に発揮し、歴史を積み重ねてきた。

強みの1つが、「丈夫で長持ち」の堅牢性。設置から50年以上を経た現役機が少なからず稼動し、設置されて以来数十年間の取引が続いている顧客も多数ある。「富士エレベーターは頑丈」というブランドイメージが浸透している。ハードとしての堅牢性が顧客との信頼を生み出した。

2つ目が顧客とのワン・トゥ・ワンの関係性。長期にわたる継続的な取引を通じて、顧客ごとの状況をしっかり把握し、希望や要望に対して、きめ細かく柔軟にこたえられるようになっている。



1978年に建設した現本社ビル

● 社是・理念

お客様に常に信頼していただける会社であることを第一義として、お客様の立場に立って、確かな商品・サービスを通じて昇降機の安全・安心・快適な稼動を提供する。



代表取締役

篠田 一喜 氏

● 長寿の秘訣

自社工場を持たない事業形態が、バブル崩壊以降の厳しい経営局面でプラスに働いたことは間違いない。だが昇降機の安全・安心と快適な稼動を提供するために、愚直に製品開発を推し進め、多くの顧客から揺るぎない信頼を勝ち得たことが大きい。自社工場はなくても、メーカーとして確固としたモノづくりを続けてきた姿勢の賜物だ。一段の品質向上に向けた試験塔完成が、同社の新たな飛躍を予感させる。



千代田区神田鎌倉町（旧町名）で創業した当時の写真

● 会社概要

設立：1947（昭和22）年6月
 所在地：東京都千代田区内神田3-4-6
 事業内容：昇降機的设计、製造、据付、販売、修理、保守
 資本金：1,000万円
 社員数：55名（2019年10月現在）

URL：<http://www.fuji-elevator.co.jp/>



2019年末に稼動を開始した試験塔（川崎市）

◎ 2019年の試験塔完成で一段の設計開発力向上を目指す

もう一つ特筆すべき同社の特徴が、自社製造工場を持たないファブレスメーカーであるという点だ。創業以来、製造は各分野のパートナー企業に委託し、同社は設計・開発と販売、工事、保守・サービスに特化する事業形態だ。

蓄積された経験に基づく高い技術力とオペレーション機能を発揮しながら、製造技術に長けた協力企業とのコラボレーションで、製品を送り出し続けてきた。そして一段の設計開発力向上を目指して、2019年末に稼動を開始したエレベーターの試験塔。開発した製品や機構の実機検証や評価の質を高め、設計開発力を一層強化し、「エレベーターの本質に磨きをかける」（同）という。

専門ファブレスメーカーの新たな挑戦が始まろうとしている。